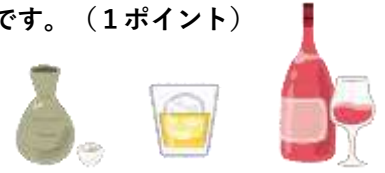




酒は飲むべし、

飲まるるべからず (全5回)



日本では「酒は百薬の長」と呼ばれてきました。飲みすぎずに節度を保って酒を飲めば心身共によい影響を与え健康や良好な人間関係の形成にも寄与するでしょう。しかし、酒が好きで強い人は飲みすぎてしまう傾向にあり、「節度を保って適正な量の飲酒にとどめる」ということは難しいものです。

飲みすぎを防止する一つの策は、飲酒に求める価値の中で「酔い」の順位を下げて、人間らしく「知識」や「会話」「味覚」「嗅覚」など五感を総動員して酒を楽しむことにあるでしょう。

本講座では各回ごとに「日本酒」「ビール」「ワイン」「スピリッツ」など、大きくは酒類ごとに焦点を置きながら、歴史的観点や日本独特の事情、最近のニュースなどを交えて、楽しく飲むための逸話をご紹介します。また、医学的観点からの酒の問題や適性飲酒についての知識の回も第3回目に設けています。本講座を通じて酒への理解を深め、蘊蓄を傾けましょう。



狩野卓也氏
酒文化研究所 代表取締役社長

藤沢市出身。
慶応義塾大学法学部卒業後(株)キリン
シーグラム入社(1984年)
1991年(株)酒文化研究所創業
1996年同社長
現在は全国燗酒コンテスト・ワイン
グラスでおいしい日本酒アワードなどの
日本酒コンテストを運営。
2010年よりSSI(日本酒サービス研究
会・酒匠連合会)副会長



堀口忠利氏(第3回のみご担当)
聖マリアンナ医科大学医学教育文化部門非常勤講師

1988年薬物依存治療施設「AADAP」
(米国ロサンゼルス)の外來部門カウ
ンセラーとして薬物依存症の治療回復
に関わり始める。
現在は、関東の複数の保護観察所の薬
物集団処遇プログラムのファシリテ
ーター及びスーパーバイザーを務めてい
る。2017年に個人事務所B.A.S.E.を起
ち上げ、依存関連のカウンセリング及
びコンサルティングを行っている。

日時：①11月2日、②11月9日、③11月16日、④11月30日、⑤12月7日

すべて木曜日 14時～16時

会場：大和市渋谷学習センター2階 多目的ホール

定員：50名(先着)

対象：どなたでも(大和市内在住・在勤・在学者優先)

受講料：2,000円(全5回分、※学生は半額 要学生証) ※欠席されても返金できません。

申込：9月28日(木)10時から受付開始

お電話または渋谷学習センター窓口へ

市外の方は、お席に空きがある場合、10月5日(木)10時からお申込みいただけます。
右のQR、お電話または渋谷学習センター窓口へ。



この講座は、大和市生涯学習センター(シリウス6階)でのサテライト受講(ライブ中継)も選択できます。
詳細は裏面をご覧ください。

お申込・お問合せ 大和市渋谷学習センター 046-267-2027

アクセス/小田急江ノ島線、高座渋谷駅西口から徒歩2分

第1回 11/2 私たちの日本酒観はいかに生まれたか

日露戦争当時は国の税収の主力であった日本酒による酒税。原料は国民の主食であるお米。このため日本酒は常に国策の影響を強く受けてきました。戦後も基本方針は大きくは変わらず、私たちの日本酒に対する価値観をはぐくみました。平成以降に日本酒は規模は縮小の一途をたどりますが、多様で高品質な酒を手軽に飲める時代に発展した背景を考えます。

第2回 11/9 世界でも異例な高額酒税を負担してきた日本のビールのこれから

戦後の経済成長期に大きく市場を拡大させたビール。世界でも稀な高額酒税を負担する代わりに、政府による保護と統制を受けてきたために「発泡酒」「新ジャンル」というガラパゴス的な商品も生み出し、ようやくその歴史が終わり味覚本位の競争・市場形成がスタートします。クラフトビールを含めて多様なビール文化がどのように発展するかを考えます。

第3回 11/16 大好きなお酒と良い関係を続けるために

コインの裏表のように、お酒がもたらすポジティブな面と共に、お酒によって人生が大きく壊れてしまう、という面もあるのは周知の事実。お酒は呑んでも飲まれるな！大好きなお酒で人生が壊れてしまうことがないようにするためにはどうしたらよいか、そして、もしそうなった時は何が起こるのか、事実を基にした情報をご紹介します。大好きなお酒と良い関係を続けるためにはどうしたらよいか、一緒に考えましょう。

第4回 11/30 ウイスキーやスピリッツの市場が現在に至ったわけ

戦後の日本社会の経済の発展と共に急成長を遂げたウイスキー。味よりも文化的な観点で評価され飲まれてきたと考えられます。それを支えてきたのが級別課税制度でした。しかし平成に変わるころにウイスキーの酒税制度が激変した結果、市場様相も大変化を迎えました。現在は日本産のウイスキーが世界でも評価を高め、ジン・焼酎なども含めた幅広い蒸留酒文化の発展が期待されています。

第5回 12/7 ワイン愛好家にインテリが多いわけ

日本の酒類の中で最も特異な発展を遂げたワイン。輸入ワインを中心に市場が形成されてきましたが、現在は伝統的な「ぶどう酒」文化をはぐくんできた山梨県を中心に国産ワインも世界に通用するレベルに育つとともに、全国各地で若者を中心に「日本ワイン」への新規参入が相次ぐホットな酒類製造業としても注目されています。

この講座は、サテライト受講（ライブ中継）も選択できます。

【サテライト受講とは】

メイン会場（渋谷学習センター）で行っている講義の様子を、サテライト会場（生涯学習センター）のモニターに映してライブ中継をご覧いただく方法です。（質疑応答も可能です。）

サテライト会場とその会場での受講の申込方法

サテライト会場：大和市生涯学習センター（609小会議室）

シリウス会場
申し込み用QR

【申込方法】電話（046-261-0491）または大和市生涯学習センター窓口

【定員】先着12名

【申込受付】大和市内在住・在勤・在学の方：9月28日（木）10時～

上記以外の方（お席に空きがある場合）：10月5日（木）10時～

右のQRからもお申込みいただけます。

【受講料】2,000円（全5回分、※学生は半額 ※受付で学生証をご提示ください。）

<https://yamato-bunka.jp/learning/>

受講に当たっての注意事項

※居住地に関わらず、どちらの会場でもお申込みいただけます。受講を希望する会場へお申し込みください。

※お一人での複数会場への申し込みは他の方の受講機会の妨げとなりますのでご注意ください。

※受講当日は、会場をお間違えになりませんようご注意ください。

大和市渋谷学習センター ☎046-267-2027 〒242-0023 大和市渋谷5-22 IKOZA 3F

※天候や交通機関の運行状況及びその他不可抗力により、開催が中止となる場合がございます。

※渋谷学習センターの専用駐車場はございません。なるべく公共の交通機関をご利用ください。

（渋谷学習センターが入ってるIKOZAビルの駐車場は有料です。）